

注3

大学番号：私077

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

共立女子大学 看護学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人共立女子学園
平成27年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名	総合企画室		
職名・氏名	シツチョウ 室長	スズキ 鈴木	タカユキ 孝之
職名・氏名		イイダ 飯田	アツシ 篤
電話番号	03-3237-2784		
（夜間）	03-3237-2784		
F A X	03-3237-2767		
e-mail	aiida@kyoritsu-wu.ac.jp		

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	25
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	27
6. 留意事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 共立女子学園

(2) 大学名

共立女子大学

(3) 大学の位置

〒101-8437

東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシバシ ヨシオ) 石橋 義夫 (平成2年4月)		
学長	(イリエ カズオ) 入江 和生 (平成20年12月)		
学部長	(オオゼキ タケヒコ) 大関 武彦 (平成25年4月)	(クサカ カズヨ) 日下 和代 (平成27年4月)	病気加療のため退職 (27)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	100人	年次 -	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	100人	人	100人	人	100人	人	100人	人	1.02倍	-	
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	()	()	566	(-)	640	(-)	450	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	()	()	543	(-)	597	(-)	433	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	()	()	198	(-)	203	(-)	260	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	()	()	100	(-)	100	(-)	106	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A			1.00		1.00		1.06						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			[] [] (-) () 100		[] [] (1) () 101		[] [] (5) () 106		
2年次					[] [] (-) () 99		[] [] (5) () 104		
3年次							[] [] (-) () 90		
4年次									
計			[] [] (-) 100		[] [] (1) 200		[] [] (5) 300		

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	- 人	- 人	平成24年度	- 人	- 人		%
			平成25年度	- 人	- 人		
			平成26年度	- 人	- 人		
			平成27年度	- 人	- 人		
平成25年度 入学者	100 人	5 人	平成25年度	0 人	0 人		5.0 %
			平成26年度	5 人	0 人	進路変更(2人)、学生個人の心身に関する 事情(2人)、就学意欲の低下(1人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	100 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	一身上の都合(1人)	1.0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	106 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	306 人	6 人					2.0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基本スキルユニット 教養教育科目	入門 基礎ゼミナール	1前	2			1	7 5 1	3 4 2 3			<p>講義内容の充実のため担当教員を2名追加。また、1名については講師から准教授に昇任。(27)</p> <p>担当 岸田泰子(教授) 平成26年9月 教員審査済</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のあった担当者の後任を1名補充するとともに、講義内容の充実のため担当教員を5名追加。(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 丸山昭子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(講師) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西留美子(講師) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(25)</p>
	表現技法Ⅰ(作文・論文)	1・2前・後		1							兼1
	表現技法Ⅱ(読解・分析)	1・2後		1						兼1	
	表現技法Ⅲ(企画立案・発表討論)	1・2前・後		1						兼1	
	基礎日本語(留学生対象)	1・2通		2						兼1	
	応用日本語(留学生対象)	1・2通		2						兼1	
	英語Ⅰ	1通	2							兼3	
	英語Ⅱ	1・2通		2						兼1	
	ビジネス英語Ⅰ	2・3・4通		2						兼1	
	ビジネス英語Ⅱ	2・3・4通		2						兼1	
	オーラル・コミュニケーション	2・3・4通		2						兼1	
	TOEIC/TOEFL演習	2・3・4通		2						兼1	
	分野別英語	2・3・4通		2						兼1 履修者僅少のため、科目を廃止(27)	
ことばとスキル	基礎フランス語(入門)	1前・後		2						兼1	
	基礎フランス語(表現)	1前・後		2						兼1	
	応用フランス語(総合)	2・3・4通		2						兼1	
	基礎中国語(入門)	1前・後		2						兼1	
	基礎中国語(表現)	1前・後		2						兼1	
	応用中国語(総合)	2・3・4通		2						兼1	
	基礎ドイツ語(入門)	1前・後		2						兼1	
	基礎ドイツ語(表現)	1前・後		2						兼1	
	応用ドイツ語(総合)	2・3・4通		2						兼1	
	基礎スペイン語(入門)	1・2・3・4通		2						兼1	
	応用スペイン語(総合)	2・3・4通		2						兼1	
	基礎イタリア語(入門)	1・2・3・4通		2						兼1	
	応用イタリア語(総合)	2・3・4通		2						兼1	
	基礎ロシア語(入門)	1・2・3・4通		2						兼1	
	応用ロシア語(総合)	2・3・4通		2						兼1	
	基礎コリア語(入門)	1・2・3・4通		2						兼1	
	応用コリア語(総合)	2・3・4通		2						兼1	
	基礎アラビア語Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼1 語学科目の充実のため、科目を追加(27)
	基礎アラビア語Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼1 語学科目の充実のため、科目を追加(27)
	情報基礎	1前・後		2							兼1
情報処理	1前・後		2							兼2	

基本スキルユニット	ことばとスキル	情報活用法A (データベース)	1・2 前・後	2						兼1	
		情報活用法B (ネットワーク)	1・2 前・後	2						兼1	
		統計基礎	1・2 前	2						兼1	
		統計情報処理	1・2 前・後	2						兼1	
		体育	1→2 通	2						兼4	「健康スポーツ実習」として授業科目を変更するため、科目を廃止 (27)
		健康スポーツ実習A	1・2・3・4前	1						兼1	体育関連科目の充実のため、科目を追加 (27)
		健康スポーツ実習B	1・2・3・4後	1						兼1	体育関連科目の充実のため、科目を追加 (27)
		学問への招待	1・2・3・4前 1→2後	2						兼1	学修機会を充実するため、配当年次を変更 (27)
		生活の中の教養	比較文化の視点	1・2・3・4前・後	2					兼1	
		教養教育科目	社会人としての教養	メディアと文化	1・2・3・4前・後	2					兼1
文学の世界	1・2・3・4前・後			2					兼1		
芸術の世界	1・2・3・4前・後			2					兼1		
デザインの現在	1・2・3・4前・後			2					兼1		
衣食住の文化	1・2・3・4前・後			2					兼1		
生活環境とアメニティ	1・2・3・4後			2					兼1		
健康の科学	1・2・3・4前・後			2		4			兼1	担当者病氣加療のため、担当者交代 (26)	
介護・ケアと生活	1・2・3・4前・後			2					兼1		
政治・社会の諸課題	1・2・3・4前			2					兼1		
経済・産業の諸課題	1・2・3・4前・後			2					兼1		
専門を学ぶための教養	国際関係の諸課題	環境・科学の諸課題	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		人間とは何か	1・2・3・4後	2					兼1		
		人間関係と自己表現	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		現代の家族	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		地域社会と福祉	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		女性と社会	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		マーケティング	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		ライフプランとキャリアプラン	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		企業・組織の仕組み	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		総合表現ワークショップ	1・2・3・4後	2					兼1	教養教育科目の充実を図るため、科目を追加 (27)	
専門教育科目	人体の構造と機能	自己開発	1・2・3・4前	2					兼1		
		文学	1・2・3・4後	2					兼1		
		哲学概論	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		倫理学概論	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		言語学概論	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		心理学	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		教育学	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		社会学概論	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		文化人類学	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		民俗学	1・2・3・4前・後	2					兼1		
専門基礎科目	疾病と治療	人文地理学	1・2・3・4前	2					兼1		
		自然地理学	1・2・3・4後	2					兼1		
		地誌学概論	1・2・3・4後	2					兼1		
		法学概論	1・2・3・4後	2					兼1		
		法学 (日本国憲法)	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		政治学概論	1・2・3・4前	2					兼1		
		経済学概論	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		国際関係概論	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		世界史概論	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		日本史概論	1・2・3・4前・後	2					兼1		
専門基礎科目	疾病と治療	地域史	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		数学	1・2・3・4前	2					兼1		
		物理学	1・2・3・4後	2					兼1		
		化学	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		生物学	1・2・3・4前・後	2					兼1		
		解剖学 I	1前	1					兼1		
		解剖学 II	1後	1					兼1		
		生理学 I	1前	1					兼1		
		生理学 II	1後	1					兼1		
		生化学	1前	1					兼1		
専門基礎科目	疾病と治療	病理学	1前	1					兼1		
		臨床心理学	1後	1					兼2 兼4	平成25年9月、就任辞退のあった担当者の後任として兼任講師を採用 (26) 担当者就任辞退 (25) 1年次後期配当科目につき、平成25年9月兼任講師採用予定	
		発達心理学	1後	1					兼1		
		微生物学	1前	1					兼1		
		栄養学	1後	1					兼1		
		薬理学	1後	1			4		兼1	就任辞退のあった担当者の後任として兼任講師を採用 (27)	
		病態と治療 I (臓器疾患)	1後	1					兼7 兼9 兼4	就任辞退のため担当者を減 (27) 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加 (25)	
		病態と治療 II (全身システム疾患)	2前	1					兼6 兼4	講義内容の充実を図るため兼任講師を追加 (26)	

専 門 教 育 科 目	疾 病 と 治 療	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	2前	1						兼6 兼5 兼4	講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（27） 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）	
		病態と治療Ⅳ（産婦人科・小児科疾患）	2前	1		4					兼1	担当者病気療養のため、教員を減（26）
		病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	2後	1							兼6 兼4	講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）
		病態と治療Ⅵ（検査・麻酔・臨床工学）	2後	1							兼3 兼5 兼4	就任辞退のため担当者を減（27） 講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）
		リハビリテーション	2後	1							兼3 兼4	講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）
	看 護 の 基 盤	看護学入門	1前	1		1 +	1 +				兼4	平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授1名、准教授1名を補充（27） 担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当 中村昌子（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26） 准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため（25）
		看護学概論	1前	2		2 2					兼2	平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授2名を補充（27） 担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当 山崎章恵（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、担当者交代。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26）
		コミュニケーション論	1後	1		2	4					担当者の就任辞退のため、教員を減。（26）
		看護アセスメント論	2前	1		1 +	1	1				平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充（27） 担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26）

専門基礎科目	看護の基礎	看護過程展開論	2前	1			2 2	1			兼2	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授2名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、担当者交代。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p>	
		生命倫理	3前	1								兼1	
		看護倫理	3前	1			1						
		保健医療福祉論	1後	1								兼1	
		医療情報論	1後	1								兼1	
		医療統計	2後	1								兼1	
		保健医療法規	2後	1								兼1	
		公衆衛生学	2前	1			1					兼4	講義内容の充実を図るため兼任講師を追加(26)
		ヘルスプロモーション	2前	1			2	1					<p>講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(26)</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p>
		専門教育科目	専門基礎科目	基礎看護技術論Ⅰ	1前	1			1 +	2 1 2	1		兼4
基礎看護技術論Ⅱ	1後			1			1 +	2 1 2	1		兼4	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>	

専門教育科目	専門基幹科目	基礎看護技術論Ⅲ	2後	1			1 +	2 +	1	1	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>
		日常生活援助技術論Ⅰ	1前	1			1 +	2 +	1	1	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>
		日常生活援助技術論Ⅱ	1後	1			1 +	2 +	1	1	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>

専門教育科目 専門基幹科目	日常生活援助技術論Ⅲ	1後	1			1 +	2 + 2	1	1	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者2名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授1名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>
	回復促進援助技術論Ⅰ	1後	1			1 +	2 + 4	1	1	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者1名就任辞退。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。また、准教授1名を補充。(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>
	回復促進援助技術論Ⅱ	2前	1			1 +	2 + 4	1	1	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者1名就任辞退。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。また、准教授1名を補充。(26)</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当のため(25)</p>

<p>専門教育科目</p>	<p>専門基幹科目</p>	<p>基礎看護学実習 I</p>	<p>1前</p>	<p>1</p>			<p>1 4</p>	<p>5 3 1 2</p>	<p>3 4 5 6</p>	<p>6</p>		<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。また、助教3名就任辞退のため、助教3名を補充。講師1名は准教授に職位変更。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>兼1</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、担当者3名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授2名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>講師は、就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。また、准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当。(25)</p>
---------------	---------------	------------------	-----------	----------	--	--	----------------	----------------------------	----------------------------	----------	--	---

専門教育科目	専門基幹科目	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1 4	5 3 4 1 2	3 4 5 6	6	兼1	<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充し、准教授1名を追加。また、助教3名就任辞退のため、助教3名を補充。講師1名は准教授に職位変更。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、担当者3名就任辞退につき、辞退のあった担当者の後任として、准教授2名を採用。他1名については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>講師は、就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定。また、准教授1名について、平成26年度までは兼任講師として担当。(25)</p>	
		成人看護学概論	1後	1			2 4 2						<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(27)</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p>
		成人看護学援助論Ⅰ	2前	1			1 4	1			1		<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(27)</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p>

専門教育科目 専門基幹科目	成人看護学援助論Ⅱ	2後	1			2 +	1			1	平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(27) 担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)
	成人看護学援助論Ⅲ	3前	1			1 +	1			1	平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(27) 担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)
	成人看護学援助論Ⅳ	3前	1			2 +	1			1	平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(27) 担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)
	成人看護学援助演習	3前	1			2 +	1			1	平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。(27) 担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)
	成人看護学実習Ⅰ	3後・4前	3			2 +	1		3	1	平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。また、助教2名就任辞退のため、助教2名を補充。(27) 担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)
	成人看護学実習Ⅱ	3後・4前	3			2 +	1		3	1	平成26年度に就任辞退のあった担当者1名について、教授1名を補充。また、助教2名就任辞退のため、助教2名を補充。(27) 担当 山崎章恵(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)

専門 教育科目	専門 基幹 科目	高齢者看護学概論	1後	1			1	1				講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(26) 担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可		
		高齢者看護学援助論	2前	2			1	1	1		1		講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(26) 担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可	
		高齢者看護学援助演習	2後	1			1	1	1		1		講義内容の充実を図るため担当教員を追加。(26) 担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可	
		高齢者看護学実習Ⅰ	3前	1			1	1	1 2		1	1	助教1名就任辞退のため、教員(助教1名)を補充。(27) 担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者就任辞退のため、教員を補充。(26) 担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可	
		高齢者看護学実習Ⅱ	3後・4前	1			1	1	1 2		1	1	助教1名就任辞退のため、教員(助教1名)を補充。(27) 担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者就任辞退のため、教員を補充。(26) 担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可	
		高齢者看護学実習Ⅲ	3後・4前	2			1	1	1 2		1	1	助教1名就任辞退のため、教員(助教1名)を補充。(27) 担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可 担当者就任辞退のため、教員を補充。(26) 担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可	
		小児看護学概論	2前	1			1							
		小児看護学援助論	2後	2			1	1	1			1		講師1名について、准教授に職位変更。(27) 担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可
		小児看護学援助演習	3前	1			1	1	1			1		講師1名について、准教授に職位変更。(27) 担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可
		小児看護学実習	3後・4前	2			1	1	1		1	1		講師1名について、准教授に職位変更。(27) 担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可
母性看護学概論	2前	1			1									

専門 教育 科目	専門 基幹 科目	母性看護学援助論	2後	2			1	2 +	4		1	平成25年度履行情況報告時の就任 辞退に関しては、平成25年10月後 任採用済み。(26) 〔担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可〕 就任辞退のため減。後任について は、平成25年6月専任教員採用等 設置計画変更書提出予定(25)	
		母性看護学援助演習	3前	1			1	2 +	4		1	平成25年度履行情況報告時の就任 辞退に関しては、平成25年10月後 任採用済み。(26) 〔担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可〕 就任辞退のため減。後任について は、平成25年6月専任教員採用等 設置計画変更書提出予定(25)	
		母性看護学実習	3後・4前	2			1	2 +	4			平成25年度履行情況報告時の就任 辞退に関しては、平成25年10月後 任採用済み。(26) 〔担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可〕 就任辞退のため減。後任について は、平成25年6月専任教員採用等 設置計画変更書提出予定(25)	
		精神看護学概論	2前	1			1						
		精神看護学援助論	2後	2			1	1				1	
		精神看護学援助演習	3前	1			1	1				1	
		精神看護学実習	3後・4前	2			1	1			1		
		在宅看護概論	2後 2前	1			1						教育効果を高めるため、「地域看 護学概論」とあわせ、配当時期を 変更(26)
		在宅看護学援助論	3前	2			2		1			1	
		在宅看護学援助演習	3前	1			2		1			1	
		在宅看護論実習Ⅰ	3後・4前	1			2		1				
		在宅看護論実習Ⅱ	3後・4前	1			2		1				
		地域看護学概論	2前 2後	1			1						教育効果を高めるため、「在宅看 護学概論」とあわせ、配当時期を 変更(26)
		地域看護学援助演習	3前	1			1			1		1	担当教員を追加。(27) 〔担当 西留美子(講師) 平成26年9月 教員審査済 判定可〕

専門教育科目	専門基幹科目	総合技術演習 (OSCE) I	3前	1		9 8 10	8 7 5	3 4 5 6	6	1	<p>平成26年度に就任辞退のあった2名については、教授2名を補充。その後、担当者2名の就任辞退があり、うち1名は准教授を補充、他1名は、他の専任教員がおり支障がないため、補充なし。講師1名は准教授に職位変更。また、担当者（助教6名）を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石渡智恵美（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 甲斐恭子（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石田 徹（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、別途就任辞退があった担当者4名のうち、2名を補充。他2名の後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (26)</p> <p>担当 和田佳子（准教授） 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 (25)</p>	
	専門展開科目	医療の英語 I	2・3・4 前	1							兼1	
		医療の英語 II	2・3・4 前	1							兼1	
		障害者医療論	2・3・4 後	1							兼1	
		障害者コミュニケーション	2・3・4 後	1							兼1	
		臨床薬理学	2・3・4 後	1		4					兼1	就任辞退のあった担当者の後任として、兼任講師を補充。(27)
		カウンセリング	3・4 前	1		1						
		国際看護論	3→4 後	1		1					兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更。(27)
		クリティカルケア	3→4 後	1		1	1	4				<p>教育効果を高めるため、配当年次を変更。また、講師1名を准教授に職位変更。(27)</p> <p>担当 西田志穂（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p>

専門 教育 科目	専門 展 開 科 目	ケースマネジメント	3→4 前		1		3	1					教育効果を高めるため、配当年次 を変更。(27) 講義内容の充実を図るため担当教 員を追加。(26) 〔担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可	
		地域保健・産業保健	3・4 後		1		1							
		看護と芸術	3→4 後		1		1							教育効果を高めるため、配当年次 を変更。(27)
		緩和ケア・終末期ケア	3→4 後		1		2							教育効果を高めるため、配当年次 を変更。(27)
		多職種連携論	3→4 後		1		3							教育効果を高めるため、配当年次 を変更。(27)
		家族看護学	3・4 後		1		1							
		医療安全	3・4 前		1		1	1	1				兼1	講義内容の充実を図るため担当教 員を追加。また、講師1名を准教 授に職位変更。(27) 〔担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可 担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可
		継続看護	3・4 後		1		1		1					
		災害看護論	3・4 前		1		2							
		看護管理学	3→4 前		1		1						兼1	教育効果を高めるため、配当年次 を変更。(27) 講義内容の充実を図るため担当教 員を追加。(27) 〔担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可
		医療政策論	3→4 後		1								兼1	教育効果を高めるため、配当年次 を変更。(27)
		看護教育学	3→4 後		1		1 2	1						教育効果を高めるため、配当年次 を変更。担当者2名の就任辞退が あったが、他に担当者(教授1 名)がおり、支障がないため、担 当者を減。(27)
看護専門職論	3→4 前		1		2							教育効果を高めるため、配当年次 を変更。(27)		
先端医療と看護	3→4 前 後		1		1							教育効果を高めるため、配当年次 を変更。また、担当教員就任辞退 のため、平成28年9月後任補充予 定。(27)		

<p>専門教育科目</p>	<p>専門展開科目</p>	<p>看護学総合演習</p>	<p>4前</p>	<p>1</p>		<p>9 7 9</p>	<p>8 7 5</p>	<p>3 4 5 6</p>	<p>5</p>	<p>1</p>	<p>平成26年度に就任辞退のあった2名については、教授2名を補充。その後、担当者2名の就任辞退があり、うち1名は准教授を補充、他1名は、他の専任教員がおり、支障がないため補充なし。講師1名は准教授に職位変更。また、担当者（助教6名）を追加。（27）</p> <p>担当 中原りり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 甲斐恭子（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石田 徹（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、別途就任辞退があった担当者4名のうち、2名を補充。他2名の後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26）</p> <p>担当 和田佳子（准教授） 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（25）</p>
---------------	---------------	----------------	-----------	----------	--	----------------------	----------------------	----------------------------	----------	----------	---

<p>専門教育科目</p>	<p>専門展開科目</p>	<p>看護学総合実習</p>	<p>4後</p>	<p>2</p>			<p>9 7 9</p>	<p>8 7 5</p>	<p>3 4 5 6</p>	<p>6</p>	<p>平成26年度に就任辞退のあった2名については、教授2名を補充。その後、担当者2名の就任辞退があり、うち1名は准教授を補充、他1名は、他の専任教員がおり支障がないため補充なし。講師1名は准教授に職位変更。また、担当者（助教5名）を追加。（27）</p> <p>担当 中原るり子（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵（教授） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂（准教授） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石渡智恵美（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子（助教） 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 甲斐恭子（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石田 徹（助教） 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、別途就任辞退があった担当者4名のうち、2名を補充。他2名の後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（26）</p> <p>担当 和田佳子（准教授） 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子（准教授） 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定（25）</p>
---------------	---------------	----------------	-----------	----------	--	--	----------------------	----------------------	----------------------------	----------	--

専門教育科目	専門展開科目	総合技術演習 (OSCE) II	4後	1			9 8 10	8 7 5	3 4 5 6	6	1	<p>平成26年度に就任辞退のあった2名については、教授2名を補充。その後、担当者2名の就任辞退があり、うち1名は准教授を補充、他1名は、他の専任教員がおり支障がないため補充なし。講師1名は准教授に職位変更。また、担当者(助教6名)を追加。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 中村昌子(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 西田志穂(准教授) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石渡智恵美(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 矢口菜穂(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 佐藤京子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 小野美香子(助教) 平成27年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 甲斐恭子(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 石田 徹(助教) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>平成25年度履行状況報告時の就任辞退に関しては、平成25年10月後任採用済み。その後、別途就任辞退があった担当者4名のうち、2名を補充。他2名の後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p> <p>担当 和田佳子(准教授) 平成25年7月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 櫻井美奈(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 田中敦子(准教授) 平成26年1月 教員審査済 判定可</p> <p>就任辞退のため減。後任については、平成25年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(25)</p>
	看護研究	看護研究法 I	3前	1			9 7 9	1 2				<p>平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授2名を補充。また、准教授1名の就任辞退があったが、他の教員が担当するため、補充なし。(27)</p> <p>担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 山崎章恵(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可</p> <p>担当者の就任辞退のため、教員を減。後任については、平成26年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定(26)</p>

専門教育科目	看護研究	看護研究法Ⅱ	4通	2			9 7 9	7 5					平成26年度に就任辞退のあった担当者2名について、教授2名を補充。また、准教授1名の就任辞退があったが、他の教員が担当するため、補充なし。(27)
													担当 中原るり子(教授) 平成26年9月 教員審査済 判定可

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 83	科目 103	科目 0	科目 186	科目 83	科目 106	科目 0	科目 189	
				[0]	[3]	[0]	[3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	特になし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	分野別英語	2	2・3・4通	一般	選択	履修者僅少のため廃止し、他の語学科目（基礎アラビア語Ⅰ、基礎アラビア語Ⅱ）を充実した。
2	体育	2	1・2通	一般	選択	通年2単位科目として開設していた「体育」を、半期1単位科目の「健康スポーツ実習A」と「健康スポーツ実習B」に変更し、前後期に開講することにより、学生の学修機会を充実するとともに、多様な種目設定により授業を展開し、学修ニーズに対応した。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

科目の廃止は、教養教育科目に係るものである。今回の教養教育科目の変更については、近年の社会環境の変化に対応し、教養教育科目の充実を図るためのものである。第一に、多様な言語に触れる機会を増やしコミュニケーション能力の養成を充実することを目的として、履修者僅少の「分野別英語」を廃止する一方、「基礎アラビア語Ⅰ」「基礎アラビア語Ⅱ」を新設した。第二に、体育関係の科目について、学生の多様な学修ニーズに対応し、豊富な学修機会を設けることを目的として、「体育」を廃止する一方、「健康スポーツ実習A」と「健康スポーツ実習B」を新設した。学生に対しては、「履修ガイド」に記載するとともに、ガイダンス等で説明を行い、周知を図った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{1.07\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 <共用する他の学校等> 共立女子短期大学 共立女子高等学校 (収容定員1,080名) 面積基準：運動場として 8,400㎡(中学校との共用可) 共立女子第二高等学校 (収容定員720名) 面積基準：運動場として 8,400㎡(中学校との併用可) 共立女子中学校 (収容定員960名) 面積基準：運動場として 8,400㎡ 共立女子第二中学校 (収容定員480名) 面積基準：運動場として 6,000㎡		
	校舎敷地	40,755㎡	11,760㎡	59,783㎡	112,298㎡			
	運動場用地	8,000㎡	3,000㎡	21,000㎡	32,000㎡			
	小 計	48,755㎡	14,760㎡	80,783㎡	144,298㎡			
	そ の 他	0㎡	96,453㎡	0㎡	96,453㎡			
	合 計	48,755㎡	111,213㎡	80,783㎡	240,751㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<共用する学校等の名称> 共立女子短期大学 平成26年2月 建築等設置 計画変更書提出済 (26)			
	24,963㎡ (24,963㎡)	31,427 37,451㎡ (31,427 37,451㎡)	1,965㎡ (1,965㎡)	58,355 64,379㎡ (58,355 64,379㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 記載漏れ平成26年2月 建築 等設置計画変更書提出済 (27)		
	65 74室	36 39室	30 35室	11室 (補助職員 7 人)	3室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成25年12月設置計画変更協 議済 (26) 平成26年4月 専任准教授2名を新規 採用のため (26)		
	看護学部 看護学科		1 8 +6 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称 看護学部看護学科 計	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体
		493,192 [136,174] (488,389 [135,394])	5,590 [1,020] (5,590 [1,020])	6,184 [6,133] (6,184 [6,133])	10,363 (10,108)	3,113 (3,113)	57 (57)	
		493,192 [136,174] (488,389 [135,394])	5,590 [1,020] (5,590 [1,020])	6,184 [6,133] (6,184 [6,133])	10,363 (10,108)	3,113 (3,113)	57 (57)	
		493,192 [136,174] (488,389 [135,394])	5,590 [1,020] (5,590 [1,020])	6,184 [6,133] (6,184 [6,133])	10,363 (10,108)	3,113 (3,113)	57 (57)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	9,871㎡	521	570,825					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体 平成26年2月 建築等設置計 画変更書提出済 (26)			
	474 829㎡	該当なし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	平成25年12月設置計画変更 協議済 (26) 教員1人当りの研究費等に ついて、助教は200千円 共同研究費等は、大学全体
	教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	2,002千円	5,087千円	4,334千円	
	共同研究費等	21,000千円	21,000千円	設備購入費	73,287千円	1,715 1,610 千円	6,441千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,830千円	1,680千円	1,680千円	1,680千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		共立女子大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
家政学研究科	1	35	—	73			昭和55年度	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	文芸学研究科日本文学専攻・英文学専攻・演劇学専攻は平成27年4月学生募集停止
被服学専攻	2	8	—	16	修士(家政学)	0.75	昭和55年度		
食物学専攻	2	8	—	16	修士(家政学)	0.31	昭和55年度		
建築・デザイン専攻	2	8	—	16	修士(家政学)	0.31	平成23年度		
児童学専攻	2	8	—	16	修士(家政学)	0.25	平成23年度		
人間生活学専攻	3	3	—	9	博士(学術)	0.99	平成6年度		
文芸学研究科	2	20	—	40	修士(文芸学)	0.20	昭和41年度		
文芸学専攻	2	20	—	40	修士(文芸学)	0.20	平成27年度		
国際学研究科	2	15	—	30	修士(学術)	0.23	平成23年度		
国際学専攻	2	15	—	30	修士(学術)	0.23	平成23年度		
大学の名称	共立女子大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
家政学部	4	375	—	1,500	学士(家政学)		昭和24年	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	家政学部児童学科は平成27年4月より入学定員変更(100→150)
被服学科	4	90	—	360	学士(家政学)	1.09	昭和24年		
食物栄養学科	4	95	—	380	学士(家政学)	1.14	昭和41年		
食物学専攻	4	45	—	180	学士(家政学)	1.19	昭和41年		
管理栄養士専攻	4	50	—	200	学士(家政学)	1.11	昭和41年		
建築・デザイン学科	4	90	—	360	学士(家政学)	1.08	平成19年		
児童学科	4	150	—	450	学士(家政学)	1.06	平成19年		
文芸学部	4	350	—	1,400	学士(文芸学)	1.05	昭和28年		
文芸学科	4	350	—	1,400	学士(文芸学)	1.05	平成19年		
国際学部	4	250	—	1,000	学士(国際学)	1.12	平成19年		
国際学科	4	250	—	1,000	学士(国際学)	1.12	平成19年		
看護学部	4	100	—	400	学士(看護学)	1.02	平成25年	東京都八王子市元八王子町一丁目710番地	
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.02	平成25年		
大学の名称	共立女子短期大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
生活科学科	2	100	人	270	短期大学士(生活科学)	0.92	昭和25年	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	生活科学科・文科は平成27年4月より入学定員変更(170→100)
文科	2	100	—	270	短期大学士(文科)	1.00	平成19年		
看護学科	3	—	—	—	短期大学士(看護学)	—	平成16年		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科),

大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	村本 大関 武彦	平成25年4月	薬理学	兼任	講師	村本 大関 久之	平成27年4月	薬理学	平成27年3月 大関武彦教授就任辞退のため、 担当者の変更 (27)
				病態と治療Ⅳ (産婦人科・小児科疾患)	兼任	講師	森 蘭子	平成27年4月	病態と治療Ⅳ (産婦人科・小児科疾患)	平成27年3月 大関武彦教授就任辞退のため、 担当者の変更 (27)
				総合技術演習 (OSCE) I			担当者の減			平成27年3月 大関武彦教授就任辞退のため 担当者を減。「総合技術演習 (OSCE I)」は、他に担当者が 26名いるため、支障ない。
				臨床薬理学	兼任	講師	村本 大関 久之	平成27年4月	臨床薬理学	平成27年3月 大関武彦教授就任辞退のため、 担当者の変更 (27)
				先端医療と看護			後任未定			平成27年3月 大関武彦教授就任辞退。開講年 次変更につき、平成28年9月 から後任採用予定。
				総合技術演習 (OSCE) II			担当者の減			平成27年3月 大関武彦教授就任のため 担当者を減。「総合技術演習 (OSCE I)」は、他に担当者が 26名いるため、支障ない。
				健康の科学	兼任	教授	川久保 清	平成26年4月	健康の科学	大関武彦教授病氣加療。前期配 当科目につき、担当者の変更 (26)
専	教授	岩永 秀子	平成25年4月	看護学入門	専	教授	中原 り子	平成27年4月	看護学入門	専任教員を補充。平成26年9月AC 教員審査済 (27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4 月から専任教員採用予定で公募 中。 「看護学入門」は他に担当教員 が1名いるため、支障はない。
				看護学概論	専	教授	中原 り子	平成27年4月	看護学概論	専任教員を補充。平成26年9月AC 教員審査済 (27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退による担 当者交代 (26) 平成26年9月または平成27年4 月から専任教員採用予定で公募 中。
				看護学概論	兼任	講師	廣瀬 信子	平成26年4月		
				看護アセスメント論	専	教授	中原 り子	平成27年4月	看護アセスメント論	専任教員を補充。平成26年9月AC 教員審査済 (27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4 月から専任教員採用予定で公募 中。 「看護アセスメント論」は他に 担当教員が2名いるため、支障は ない。
看護過程展開論	専	教授	中原 り子	平成27年4月	看護過程展開論	専任教員を補充し、担当者を変 更。平成26年9月AC教員審査済 (27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退による担 当者交代 (26) 平成26年9月または平成27年4 月から専任教員採用予定で公募 中。				
				看護過程展開論	兼任	講師	廣瀬 信子	平成26年4月		

専	教授	イワナギ ヒロコ 岩永 秀子	平成25年4月	基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専	教授	ナカハラ リコ 中原るり子	平成27年4月	基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専任教員を補充。平成26年9月AC 教員審査済 (27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4月 から専任教員採用予定で公募 中。 左記科目は、他に複数の担当教 員がいるため、支障はない。
専	教授	カハシ ヒロミ 高橋 博美	平成25年4月	看護学概論 看護過程展開論	専	兼任	ヤマザキ アキ 山崎 章恵	平成27年4月	看護学概論 看護過程展開論	専任教員を補充し、担当者を変 更。平成26年9月AC教員審査済 (27) 平成26年3月 高橋博美教授就任辞退による担 当者交代 (26) 平成26年9月または平成27年4月 から専任教員採用予定で公募 中。
				成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅲ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ クリティカルケア 多職種連携論	専	教授	ヤマザキ アキ 山崎 章恵	平成27年4月	成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅲ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ クリティカルケア 多職種連携論	専任教員を補充。平成26年9月AC 教員審査済 (27) 平成26年3月 高橋博美教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4月 から専任教員採用予定で公募 中。 左記科目は他に担当教員がいる ため、支障はない。
				看護教育学			担当者の減 後任未定		平成26年9月および平成27年1月 担当候補者のAC教員審査不可。 「看護教育学」は、他に担当教 員 (教授) が1名おり、支障がな いため、担当者を減。 (27) 平成26年3月 高橋博美教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4月 から専任教員採用予定で公募 中。 左記科目は他に担当教員がいる ため、支障はない。	
				看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専	教授	ヤマザキ アキ 山崎 章恵	平成27年4月	看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専任教員を補充。平成26年9月AC 教員審査済 (27) 平成26年3月 高橋博美教授就任辞退 (26) 平成26年9月または平成27年4月 から専任教員採用予定で公募 中。 左記科目は他に担当教員がいる ため、支障はない。
専	教授	イワサキ マユミ 伊藤 まゆみ	平成25年4月	コミュニケーション論 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ カウンセリング 緩和ケア・終末期ケア 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ						

専	教授	キカワ キミコ 北川 公子	平成25年4月	ヘルスプロモーション 高齢者看護学概論 高齢者看護学援助論 高齢者看護学援助演習 高齢者看護学実習 I 高齢者看護学実習 II 高齢者看護学実習 III 総合技術演習 (OSCE) I ケースマネジメント 多職種連携論 看護専門職論 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II						
専	教授	カチ レイコ 加藤 令子	平成25年4月	看護倫理 小児看護学概論 小児看護学援助論 小児看護学援助演習 小児看護学実習 総合技術演習 (OSCE) I 国際看護論 緩和ケア・終末期ケア 家族看護学 災害看護論 看護専門職論 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II						
専	教授	マルヤマ (キナダ) ヤスコ 丸山(岸田) 泰子	平成25年4月	母性看護学概論 母性看護学援助論 母性看護学援助演習 母性看護学実習 総合技術演習 (OSCE) I 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II						
専	教授	クサカ カズヨ 日下 和代	平成25年4月	コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護学援助論 精神看護学援助演習 精神看護学実習 総合技術演習 (OSCE) I 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II						
専	教授	カガチ リエ 田口 理恵	平成25年4月	ヘルスプロモーション 在宅看護概論 在宅看護学援助論 在宅看護学援助演習 在宅看護学実習 I 在宅看護学実習 II 地域看護学概論 地域看護学援助演習 総合技術演習 (OSCE) I ケースマネジメント 地域保健・産業保健 多職種連携論 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE) II 看護研究法 I 看護研究法 II	専	教授	カガチ リエ 田口 理恵	平成25年4月	公衆衛生学	平成26年4月から 講義内容の充実を図るため兼任 講師を追加 (26)
					兼任	講師	イバシ ヨシカ 石橋 義永	平成26年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	ワナハ ヨコ 渡邊 洋子	平成26年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	ネコガ ヤスシ 猫田 泰敏	平成26年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	カハラ チエ 河原 智江	平成26年4月	公衆衛生学	

専	教授	ヤノ フミエ 矢野 章永	平成27年4月	在宅看護学援助論 在宅看護学援助演習 在宅看護論実習Ⅰ 在宅看護論実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ ケースマネジメント 看護と芸術 継続看護 災害看護論 看護教育学 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ						
					専 兼任	教授 講師	ナハラ リコ 中原るり子 ヤノフミエ 矢野章永	平成27年4月 平成26年4月	看護学概論 看護過程展開論	専任教員を補充し、担当者を変更。平成26年9月AC教員審査済 (27) 平成26年3月 岩永秀子教授、高橋博美教授就任辞退により担当科目の追加 (26)
専	准教授	ヒロセ ノブコ 廣瀬 信子	平成27年4月	看護学入門 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護教育学 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	専 兼任	准教授 講師	ナカムラ マサコ 中村 昌子 ヒロセ ノブコ 廣瀬 信子	平成27年4月 平成25年4月	看護学入門 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学入門 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ	平成27年3月 廣瀬信子准教授就任辞退による担当者交代。平成27年2月AC教員審査済。(27) 平成26年度までは兼任講師として担当のため (25)
							担当者の減		看護教育学	平成27年3月 廣瀬信子准教授就任辞退。 平成26年9月および平成27年1月 担当候補者のAC教員審査不可。 「看護教育学」は、他に担当教員(教授)が1名おり、支障がないため、担当者を減。(27)
					専	准教授	ナカムラ マサコ 中村 昌子	平成27年4月	看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ	平成27年3月 廣瀬信子准教授就任辞退による担当者交代。平成27年1月AC教員審査済。(27)
					専 兼任	教授 講師	ナハラ リコ 中原るり子 ヒロセ ノブコ 廣瀬 信子	平成27年4月 平成26年4月	看護学概論	担当者の交代。平成26年9月AC教員審査済。(27) 平成26年3月 岩永秀子教授就任辞退により担当科目の追加 (26)

				コミュニケーション論			担当者の減			平成26年3月 富澤美幸准教授就任辞退 (26) 「コミュニケーション論」は、 他に担当教員が2名いるため、支 障はない
専	准教授	トミザワ ミキ 富澤 美幸	平成25年4月	看護アセスメント論 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅱ	専	准教授	サライ ミナ 櫻井 美奈	平成26年4月	看護アセスメント論 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅱ	平成26年3月 富澤美幸准教授就任辞退による 担当者交代。 平成26年1月AC教員審査済
					専	准教授	サライ ミナ 櫻井 美奈	平成26年4月	回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎ゼミナール	平成26年1月AC教員審査済 (26)
					専	准教授	サライ ミナ 櫻井 美奈	平成27年4月	看護過程展開論	担当科目の追加。平成26年9月AC 教員審査済 (27)
専	准教授	ヒナリ ミコ 菱刈 美和子	平成25年4月	成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅲ 成人看護学援助論Ⅳ 成人看護学援助演習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅱ 基礎ゼミナール						
専	准教授	フジイ チエミ 藤井 智恵美	平成25年4月	母性看護学援助論 母性看護学援助演習 母性看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅰ 看護研究法Ⅱ						
専	准教授	マルヤマ アキコ 丸山 昭子	平成25年4月	精神看護学援助論 精神看護学援助演習 精神看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 看護研究法Ⅱ						
					専	准教授	マルヤマ アキコ 丸山 昭子	平成26年4月	基礎ゼミナール	担当科目の追加。平成25年7月AC 教員審査済。(26)
専	専任講師	サイノウ カコ 齋藤 孝子	平成25年4月	看護アセスメント論 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 日常生活援助技術論Ⅰ 日常生活援助技術論Ⅱ 日常生活援助技術論Ⅲ 回復促進援助技術論Ⅰ 回復促進援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール						

専	専任講師	カハラ ジュンコ 中原 順子	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	専	准教授	タカ アツコ 田中 敦子	平成26年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成26年3月 中原順子准教授就任辞退による 担当者交代。平成26年1月AC教員 審査済 (26)
					専	准教授	タカ アツコ 田中 敦子	平成26年4月	ヘルスプロモーション 高齢者看護学概論 高齢者看護学援助論 高齢者看護学援助演習 ケースマネジメント 看護学研究法Ⅱ 基礎ゼミナール	平成26年1月AC教員審査済 (26)
専	専任講師	サノ ノゾミ 佐野 望	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学援助論 高齢者看護学援助演習 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール						
専	専任講師	ニシダ シホ 西田 志穂	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学援助論 小児看護学援助演習 小児看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ クリティカルケア 医療安全 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	専	准教授 専任講師	ニシダ シホ 西田 志穂	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学援助論 小児看護学援助演習 小児看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ クリティカルケア 医療安全 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成27年4月 准教授に職位変更。平成27年1月 AC教員審査済 (27)
					専	准教授 専任講師	ニシダ シホ 西田 志穂	平成27年4月 平成26年4月	基礎ゼミナール	平成27年4月 准教授に職位変更。平成27年4月 AC教員審査済 (27) 担当科目の追加。平成25年7月AC 教員審査済 (26)
専	専任講師	オノ サチコ 小野 智佐子	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学援助論 母性看護学援助演習 母性看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール	専	准教授	ワダ ケイコ 和田 佳子 後任未定	平成26年10月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学援助論 母性看護学援助演習 母性看護学実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ 基礎ゼミナール	平成25年7月AC教員審査済 (26) 平成25年3月 小野智佐子講師就任辞退 (25) 平成26年4月から専任教員採用予 定で公募中。「基礎看護学実習 Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」「基 礎ゼミナール」は他に担当教員 がいるため、支障はない。
					専	准教授	ワダ ケイコ 和田 佳子	平成26年10月	看護学研究法Ⅱ	平成25年7月AC教員審査済 (26)
専	専任講師	ニシ ルビコ 西 留美子	平成25年4月	継続看護 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学援助論 在宅看護学援助演習 在宅看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習Ⅱ 総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ						
					専	専任講師	ニシ ルビコ 西 留美子	平成26年4月	基礎ゼミナール	担当科目の追加。平成25年7月AC 教員審査済 (26)
					専	専任講師	ニシ ルビコ 西 留美子	平成27年4月	地域看護学援助演習	担当科目の追加。平成26年9月AC 教員審査済 (27)
専	助教	イシワタ チホミ 石渡 智恵美	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ						
					専	助教	イシワタ チホミ 石渡 智恵美	平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	担当科目の追加。平成26年9月AC 教員審査済 (27)

専	助教	キチキミ 菊地 ぎよ美	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	専	助教	ヤグチ ナ 矢口 菜穂	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	平成27年3月 菊地きよ美助教就任辞退のため 担当者変更。平成27年1月AC教員 審査済。(27)
					専	助教	ヤグチ ナ 矢口 菜穂	平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成27年1月AC教員審査済 (27)
専	助教	ホノ トモ 細野 知子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	専	助教	サウ キョウ 佐藤 京子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	平成27年3月 細野知子助教就任辞退のため担 当者変更。平成27年1月AC教員審 査済。(27)
					専	助教	サウ キョウ 佐藤 京子	平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成27年1月AC教員審査済 (27)
専	助教	マツ ノブミ 松戸 典文	平成26年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ	専	助教	オノ ミカ 小野 美香子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅲ	平成27年3月 松戸典文助教就任辞退のため担 当者変更。平成27年1月AC教員審 査済。(27)
					専	助教	オノ ミカ 小野 美香子	平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	平成27年1月AC教員審査済 (27)
専	助教	カイ キョウ 甲斐 恭子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学実習						
					専	助教	カイ キョウ 甲斐 恭子	平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	担当科目の追加。平成26年9月AC 教員審査済 (27)
専	助教	イシダ トル 石田 徹	平成26年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習						
					専	助教	イシダ トル 石田 徹	平成27年4月	総合技術演習 (OSCE)Ⅰ 看護学総合演習 看護学総合実習 総合技術演習 (OSCE)Ⅱ	担当科目の追加。平成26年9月AC 教員審査済 (27)
兼任	教授	クマガイ ヒロシ 熊谷 仁	平成25年4月	化学						
兼任	教授	スギ ノリコ 杉 憲子	平成25年4月	統計基礎 環境・科学の諸課題 数学	兼任	教授	スギ ノリコ 杉 憲子	平成25年4月	統計基礎 環境・科学の諸課題 数学	
				物理学	兼任	講師	アヰ マサツ 愛知 正温 ハマノヨシユキ 浜野 洋三	平成27年4月 平成25年4月	物理学	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (25)
兼任	教授	カガミ ヒロシ 川上 浩	平成25年4月	生物学						
兼任	教授	フジタ マサ 藤田 雅夫	平成25年4月	マーケティング						
兼任	教授	サガチ ヨシ 坂口 麗衣	平成25年4月	体育	兼任	教授	サガチ ヨシ 坂口 麗衣	平成27年4月	健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B	「体育」を廃止し、「健康ス ポーツ実習A」「健康ス ポーツ実習B」を新設したことによる、担 当授業科目の変更 (27)
兼任	教授	シマダ イサム 島田 勇	平成25年4月	比較文化の視点	兼任	准教授	ムライ ハネ 村井 華代	平成25年4月	比較文化の視点	担当者の変更 (25)
				世界史概論	兼任	講師	カワイ ノブ 河合 信晴	平成25年4月	世界史概論	担当者の変更 (25)

兼担	教授	ハシガワ カンイチ 半沢 幹一	平成25年4月	表現技法Ⅰ（作文・論文）	兼担	教授	ハシガワ カンイチ 半沢 幹一	平成27年4月	表現技法Ⅰ（作文・論文）	担当者の変更（27） 担当者の変更（26） 担当者の変更（25）
					兼担	准教授	フカヅ ケンイチ 深津 謙一郎	平成26年4月		
				表現技法Ⅲ（企画立案・発表討論）	兼任	講師	ホシノ ユウコ 星野 祐子	平成25年4月	表現技法Ⅲ（企画立案・発表討論）	担当者の変更（25）
兼担	教授	ムラタ ケン 武藤 剛史	平成25年4月	文学の世界						
兼担	教授	フクダ ヨシム 福田 収	平成25年4月	情報基礎 人間とは何か	兼担	教授		平成25年4月	情報基礎 人間とは何か	
				哲学概論	兼任	講師	モリ トヨシ 毛利 豊史	平成25年4月	哲学概論	担当者の変更（25）
				倫理学概論	兼任	講師	ババ トモミ 馬場 智理 カハミ ショウジ 河上 正秀	平成26年4月 平成25年4月	倫理学概論	担当者の変更（26） 担当者の変更（25）
兼担	教授	オオタ ヒロコ 太田 和子	平成25年4月	文化人類学						
兼担	教授	リ シンキョウ 李 錚強	平成25年4月	基礎中国語（入門） 基礎中国語（表現）						
兼担	教授	ハシカワ トシキ 橋川 俊樹	平成25年4月	メディアと文化						
兼担	教授	イシイ ヒサシ 石井 久生	平成25年4月	人文地理学 地誌学概論	兼担	教授	イシイ ヒサシ 石井 久生	平成25年4月	人文地理学 地誌学概論	
				自然地理学	兼任	講師	ハヤカワ ユウイチ 早川 裕一 アヲキミ 青木 久	平成26年4月 平成25年4月	自然地理学	担当者の変更（26） 担当者の変更（25）
兼担	教授	タテマツ ミチ子 立松 美也子	平成25年4月	法学概論						
兼担	准教授	カハラ ノリコ 河原 紀子	平成25年4月	発達心理学	兼任	講師	クラチ キヨミ 倉持 清美 シラカ ケイジ 白神 敬介	平成27年4月 平成25年4月	発達心理学	担当者の変更（27） 担当者の変更（25）
兼担	准教授	ムラカミ ヤス 村上 康子	平成25年4月	芸術の世界						
兼担	准教授	タカハシ ダイスケ 高橋 大輔	平成25年4月	生活環境とアメニティ						
兼担	准教授	シミズ アキ 清水 明子	平成25年4月	英語Ⅱ TOEIC/TOEFL演習 分野別英語	兼担	准教授	シミズ アキ 清水 明子	平成25年4月	英語Ⅱ TOEIC/TOEFL演習	
					兼担	准教授	G.A. ビッツ G.A. ビッツ	平成26年4月	分野別英語	授業科目の廃止（27） 担当者の変更（26）

兼担	准教授	フジモト マキコ 藤本 麻紀子	平成25年4月	衣食住の文化						
兼担	准教授	ウチダ (木材) ヒロミ 岡田 (大岡) ひろみ	平成25年4月	文学	兼担	教授	ウチダ ヤヒロ 内田 保廣	平成26年4月	文学	担当者の変更 (26)
兼担	准教授	イワサキ エリナ 岩崎 えり奈	平成25年4月	女性と社会	兼担	教授	ヨシザワ ヤイ 吉澤 弥生 シガラ ヒロコ 塩川 浩子	平成26年4月 平成25年4月	女性と社会	担当者の変更 (26) 担当者の変更 (25)
兼担	准教授	フカジ ケイロウ 深津 謙一郎	平成25年4月	表現技法Ⅱ (読解・分析)	兼担	教授	ハンガワ カンイチ 半沢 幹一	平成25年4月	表現技法Ⅱ (読解・分析)	担当者の変更 (25)
兼担	准教授	アンソニー ヒュー ミルズ アンソニー・ イュー・ミルズ	平成25年4月	英語 I	兼担	教授	クリス 叔キズ クリス・ホスキ エズ	平成25年4月	英語 I	担当者の変更 (25)
兼担	准教授	カリアン スウエイン リリアン・ スウエイン	平成25年4月	英語 I	兼担	教授	ケルケニヒュー ミルズ アンソニー・ キュー・ミルズ	平成26年4月	英語 I	担当者の変更 (26)
兼担	准教授	テラチ コウジ 寺地 功次	平成25年4月	国際関係概論						
兼担	准教授	ニシムラ フミコ 西村 史子	平成25年4月	教育学	兼任	講師	マカキ キリコ 大岡 紀里子 ウエノ ヒロト 上坂 保仁	平成27年4月 平成25年4月	教育学	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (25)
兼担	准教授	アサマ カオリ 浅沼 かおり	平成25年4月	地域史						
兼担	准教授	ツジヤマ ユキコ 辻山 ゆき子	平成25年4月	基礎フランス語 (入門)	兼担	准教授	ツジヤマ ユキコ 辻山 ゆき子	平成25年4月	基礎フランス語 (入門)	
				基礎フランス語 (表現)	兼担	准教授	タゲチ アキ 田口 亜紀	平成26年4月	基礎フランス語 (表現)	担当者の変更 (26)
兼担	准教授	ヤツタ ヒロト 八十田 博人	平成25年4月	政治学概論						
兼任	講師	コタマ ヨシノブ 児玉 好信	平成25年4月	統計情報処理						
兼任	講師	ワタナベ アスカ 渡辺 明日香	平成25年4月	デザインの現在						
兼任	講師	カベ タカシ 岡部 隆志	平成25年4月	教養講座 自己開発	兼任	講師	カベ タカシ 岡部 隆志	平成25年4月	教養講座 自己開発	
				民俗学	兼任	講師	ツチヤ ヒサシ 土屋 久	平成25年4月	民俗学	担当者の変更 (25)
兼任	講師	マエノリ リョウイチ 前之園 亮一	平成25年4月	日本史概論						

兼任	講師	クリストファー・アンソニー・ビッツ クリストファー・アンソニー・ビッツ	平成25年4月	英語 I オーラル・コミュニケーション	兼任	講師	クリストファー・アンソニー・ビッツ クリストファー・アンソニー・ビッツ	平成25年4月	英語 I	
					兼任	講師	C.グレイセング C.グレイセング	平成26年4月	オーラル・コミュニケーション	担当者の変更 (26)
兼任	講師	ウエブチ マリエ 上淵 真理江	平成25年4月	人間関係と自己表現	兼任	講師	ウエブチ マリエ 上淵 真理江	平成25年4月	人間関係と自己表現	
				心理学	兼任	講師	イゼン ハルコ 一前 春子	平成25年4月	心理学	担当者の変更 (25)
兼任	講師	ツルタ タツリ 鶴田 達成	平成26年4月	医療の英語 I 医療の英語 II	兼任	講師	ヤマモト ゲン 山本 元 オムラ マチコ 岡村 真紀子	平成27年4月 平成26年4月	医療の英語 I 医療の英語 II	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (26)
				ビジネス英語 II	兼任	講師	E.ベンゴスロ E.ベンゴスロ ヨシダ タケ 吉田 一武	平成27年4月 平成26年4月	ビジネス英語 II	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (26)
兼任	講師	イトウ ジュンジ 伊藤 純治	平成25年4月	解剖学 I 解剖学 II						
兼任	講師	フルヤマ マキノ 古山 マキノ	平成25年4月	生理学 I 生理学 II	兼任	講師	ホヤマ マサ 細山田 康恵	平成27年4月	生理学 I 生理学 II	担当者の変更 (27)
兼任	講師	イガラシ マル 五十嵐 庸	平成25年4月	生化学						
兼任	講師	モリ マサ 森 正也	平成25年4月	病理学	兼任	講師	キグチ ヒロコ 木口 英子	平成27年4月	病理学	担当者の変更 (27)
兼任	講師	ミヤギ カチ 宮脇 郁	平成25年4月	臨床心理学	兼任	講師	ホノウ ユウコ 久保田 友子	平成25年9月	臨床心理学	担当者の交代及び追加 (26)
					兼任	講師	イシカワ モトナ 石川 元直 ミヤギ 一佳 宮脇 一佳世 後任未定	平成27年4月 平成25年9月	臨床心理学	担当者の変更 (27) 就任辞退 (25) 1年次後期配当科目につき、 平成25年9月兼任講師採用予定
兼任	講師	ムライ ノリユキ 村井 法之	平成25年4月	微生物学						
兼任	講師	ヤマダ マサコ 山田 正子	平成25年4月	栄養学						

兼任	講師	マブネ ケンイチ 真船 健一	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	兼任	講師	マブネ ケンイチ 真船 健一	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	<p>担当者の変更および就任辞退による担当者の減（27）</p> <p>平成25年4月から講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（25）</p>
					兼任	講師	トダ ノブオ 戸田 信夫	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任	講師	ヨシムラ ケニヒロ 吉村 邦彦 キノヘロシ 未野 博至	平成27年4月 平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任	講師	イケガ イシゴ 池田 晋悟	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任	講師	カシマ ヒロシ 中島 啓喜	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任	講師	クハラ タカシ 桶原 隆義 ミナモト 三浦 純男	平成27年4月 平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任	講師	ミヅ ナブミ 三瀬 直文	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
					兼任	講師	エノモト ユカ 榎本 裕	平成25年4月	病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	
兼任	講師	タカハシ ツヨシ 高橋 強志	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	兼任	講師	タカハシ ツヨシ 高橋 強志	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	<p>担当者の変更（27）</p> <p>平成26年4月から講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）</p>
					兼任	講師	フクダ サチ 福田 幸人 キノヘロシ 未野 博至	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任	講師	ユザ リツコ 湯浅 律子	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任	講師	ミヅ ナブミ 三瀬 直文 オオタカ ヨシタカ 大盛 芳路	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任	講師	イノガワ アキヒロ 五十川 陽洋	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	
					兼任	講師	スズキ タケシ 鈴木 毅	平成26年4月	病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	

兼任	講師	加村 三ツ川 洋介	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	兼任	講師	利ミ ヒロツグ 堀見 洋継	平成27年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	<p>講義内容の充実を図るため兼任講師を追加。また、担当者を変更（27）</p> <p>平成26年4月から講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）</p>
					兼任	講師	加村 三ツ川 洋介	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任	講師	スギモ イヰミ 杉本 泉	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任	講師	キチ カコ 菊池 かな子	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任	講師	ワサハタ ヒサシ 渡邊 久 フクチ アツシ 福内一敦	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
					兼任	講師	ヒロシ ジンカ 廣田 仁聡	平成26年4月	病態と治療Ⅲ（運動器関連疾患）	
兼任	講師	クラサ シツアキ 倉沢 滋明	平成26年4月	病態と治療Ⅳ（産婦人科・小児科疾患）						
兼任	講師	サライ ヒサシ 櫻井 靖久	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	兼任	講師	サライ ヒサシ 櫻井 靖久	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	<p>担当者的変更（27）</p> <p>平成26年4月から講義内容の充実を図るため兼任講師を追加（26）</p>
					兼任	講師	カモイ コウジ 鴨居 功樹 アカサキ カサキ 赤星 隆幸	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	
					兼任	講師	オノ ヒロコ 奥野 妙子	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	
					兼任	講師	スギモ イヰミ 杉本 泉	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	
					兼任	講師	イカワ モトナ 石川 元直 ミヤケ 一 宮脇 佳世	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	
					兼任	講師	ホウ ユウコ 久保田 友子	平成26年4月	病態と治療Ⅴ（精神・神経系疾患）	

兼任	講師	ヨツイ トウシユウ 四維 東州	平成26年4月	病態と治療VI (検査・麻酔・臨床工学)	兼任	講師	ヨツイ トウシユウ 四維 東州	平成27年4月	病態と治療VI (検査・麻酔・臨床工学)	担当者の変更および担当者就任辞退による担当者数の減 (27) 平成26年4月から講義内容の充実を図るため兼任講師を追加 (26)
					兼任	講師	ハマダ ケイコ 濱田 啓子	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療VI (検査・麻酔・臨床工学)	
					兼任	講師	イシイ ノブヒロ 石井 宣大	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療VI (検査・麻酔・臨床工学)	
					兼任	講師	フジタ ナツミ 福田 穂積	平成27年4月 平成26年4月	病態と治療VI (検査・麻酔・臨床工学)	
兼任	講師	アキハ mitsu 秋保 光利	平成26年4月	リハビリテーション	兼任	講師	アキハ Mitsunori 秋保 光利	平成26年4月	リハビリテーション	担当者就任辞退による担当者数の減 (27) 平成26年4月から講義内容の充実を図るため兼任講師を追加 (26)
					兼任	講師	マツモト ナオト 松本 直人	平成26年4月	リハビリテーション	
					兼任	講師	オムラカミ ケイジ 岡村 大介	平成26年4月	リハビリテーション	
兼任	講師	ツルカ マリ 鶴若 麻理	平成27年4月	生命倫理						
兼任	講師	ゴトウ ミツヨ 後藤 光世	平成25年4月	保健医療福祉論	兼任	講師	カハラ チカ 河原 智江	平成27年4月	保健医療福祉論	担当者の交代 (27)
兼任	講師	ナカムラ トオル 中村 究	平成25年4月	医療情報論						
兼任	講師	ゴトウ キョウイチ 後藤 恭一	平成26年4月	医療統計						
兼任	講師	ナカシマ ミチ子 中島 三知子	平成26年4月	保健医療法規						
兼任	講師	チバ キクヤ 千葉 喜久也	平成26年4月	障害者医療論						
兼任	講師	タニ ナル 谷 千春	平成26年4月	障害者コミュニケーション						

兼任	講師	コンドウ マリ 近藤 麻理	平成27年4月	国際看護論						
兼任	講師	スズキ メグミ 鈴木 めぐみ	平成27年4月	医療安全						
兼任	講師	イノウエ ユミコ 井上 由美子	平成27年4月	看護管理学						
兼任	講師	かほ けん 金子 剛士	平成27年4月	医療政策論						
					兼任	講師	イノウエ レイコ 井上 玲子	平成27年4月	家族看護学	担当者の追加 (27)
					兼任	講師	タカミ ユウスケ 高宮 有介	平成27年4月	成人看護学援助論IV	担当者の追加 (27)
兼任	講師	チャールズ・E. アンダーソン チャールズ、E. アンダーソン	平成25年4月	ビジネス英語 I						
兼任	講師	ツリガタ トモミ エリック、トーマス、 ロング	平成25年4月	言語学概論	兼任	講師	ミヤザキ ユミ 宮崎 由美	平成25年4月	言語学概論	担当者の変更 (25)
兼任	講師	アントニ ニーナ アントニ ニーナ	平成25年4月	基礎ロシア語 (入門) 応用ロシア語 (総合)						
兼任	講師	イノエ エミコ 伊谷 江美子	平成25年4月	ライフプランとキャリア プラン						
兼任	講師	イノウエ けん 井上 貴也	平成25年4月	法学 (日本国憲法)						
兼任	講師	エンドウ サトシ 遠藤 聡	平成25年4月	国際関係の諸課題						
兼任	講師	ヨコヤマ カズコ 横山 和子	平成25年4月	応用日本語 (留学生対 象)						
兼任	講師	しん あきお 金 愛慶	平成25年4月	基礎コリア語 (入門) 応用コリア語 (総合)						
兼任	講師	かへ せいの 軽部 幸浩	平成25年4月	情報処理 情報活用法A (デー タベース)						
兼任	講師	エガワ なお 江川 直子	平成25年4月	社会学概論						

兼任	講師	イチハシ エリカ 市橋 映里果	平成25年4月	応用中国語（総合）	兼任	講師	ジュウカ 朱 虹	平成27年4月	応用中国語（総合）	担当者の変更（27）
兼任	講師	コマツ ヒロシ 小松 浩	平成25年4月	政治・社会の諸課題						
兼任	講師	オノエ ヒロコ 小野瀬 裕子	平成25年4月	現代の家族						
兼任	講師	マツムラ ヨシキ 松村 芳樹	平成25年4月	情報処理 情報活用法B（ネット ワーク）						
兼任	講師	ニシ タカ 西 孝	平成25年4月	経済・産業の諸課題 経済学概論	兼任	講師	クニ アキラ 久野 新	平成27年4月	経済・産業の諸課題	担当者の変更（27）
					兼任	教授	ヨシタケ ヒロツグ 吉竹 広次	平成27年4月	経済学概論	担当者の変更（27）
兼任	講師	イシイ トシコ 石井 寿子	平成25年4月	基礎ドイツ語（入門） 基礎ドイツ語（表現） 応用ドイツ語（総合）						
兼任	講師	タムラ シズコ 田村 静子	平成25年4月	介護・ケアと生活 地域社会と福祉	兼任	講師	ヒタカ ヨコ 日高 洋子 ヤノフミ 矢野 章永	平成27年4月 平成26年4月	介護・ケアと生活	担当者の変更（27） 担当者の変更（26）
					兼任	講師	ヒタカ ヨコ 日高 洋子 タムラ シズコ 田村 静子	平成27年4月 平成25年4月	地域社会と福祉	担当者の変更（27）
兼任	講師	タカタ マコト 高田 誠	平成25年4月	企業・組織の仕組み						
兼任	講師	ツチヤ リョウジ 土屋 良二	平成25年4月	応用フランス語（総合）	兼任	教授	J. マーニュ J. マーニュ	平成26年4月	応用フランス語（総合）	担当者の変更（26） 担当者の変更（25）
					兼任	講師	ナカノ マコト 内藤 真奈	平成25年4月		
兼任	講師	マキノ モトコ 牧野 素子	平成25年4月	基礎イタリア語（入門）	兼任	講師	ナガノ トオル 長野 徹	平成26年4月	基礎イタリア語（入門）	担当者の変更（26）
				応用イタリア語（総合）	兼任	講師	マキノ モトコ 牧野 素子	平成25年4月	応用イタリア語（総合）	
兼任	講師	ホンマ ヨシエ 本間 芳江	平成25年4月	基礎スペイン語（入門） 応用スペイン語（総合）	兼任	講師	カネコ ナミ 金子 奈美	平成27年4月	基礎スペイン語（入門）	担当者の変更（27）
					兼任	講師	フクダ タケシ 福田 大治	平成25年4月	基礎スペイン語（入門） 応用スペイン語（総合）	担当科目の変更（27） 担当者の変更（25）
兼任	講師	ハヤシ リカ 林 里香	平成25年4月	基礎日本語（留学生対 象）	兼任	講師	オガタ マユ 小高 愛 サトウ ユウイチ 佐藤 雄一	平成27年4月 平成26年4月	基礎日本語（留学生対 象）	担当者の変更（27） 担当者の変更（26）
					兼任	教授	サトウ ユウイチ 佐藤 雄一	平成26年4月		

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
10	5	6	6	27	9	8	3	6	26	65	1	65	1
(9)	(4)	(6)	(1)	(20)	[△1]	[3]	[△3]	[0]	[△1]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	高橋 博美	病気加療のため辞任（26）
2	教授	岩永 秀子	一身上の都合により辞任（26）
3	准教授	富澤 美幸	一身上の都合により辞任（26）
4	専任講師	中原 順子	一身上の都合により辞任（26）
5	教授	大関 武彦	病気加療のため退職（27）
6	准教授	廣瀬 信子	一身上の都合により就任辞退（27）
7	助教	菊地 きよ美	一身上の都合により就任辞退（27）
8	助教	細野 知子	一身上の都合により就任辞退（27）
9	助教	松戸 典文	一身上の都合により辞任（27）

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員数が4人減じたことについては、平成26年4月に専任教員2人を補充するとともに、平成27年4月から2人の専任教員採用予定で公募中である。
 公募中につき後任未定となっている2人の専任教員が担当していた授業科目については、教員資格審査等の所要の手続きを経た他の専任教員または兼任教員で対応しており、支障ない。
 専任教員の辞任に際しては、本学部の領域会議を実質的な単位として、教育上の引継ぎや学生へのフォローを行っている。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、ガイダンス時に教員紹介を行い、周知している。

平成27年4月に採用予定で公募中であった専任教員2人については、予定通りの採用を行い、教授2人を補充した。新たに就任辞退等のあった専任教員5人のうち、准教授1人および助教3人について、平成27年4月に准教授1人、助教3人の補充を行った。教授1人については、補充を行っていないが、担当していた授業科目については、教員資格審査等の所要の手続きを経た他の専任教員または兼任教員で対応しており、支障ない。

専任教員の辞任・就任辞退に際しては、本学部の領域会議を実質的な単位として、教育上の引継ぎや学生へのフォローを行っている。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、ガイダンス時に教員紹介を行い、周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年5月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (27年5月)	該当なし		該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目 103単位 選択必修科目 1単位 選択科目 20単位	① 該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 共立女子大学・共立女子短期大学FD委員会を設置している。 当該委員会は、共立女子学園将来基本構想委員会のもとに置かれており、大学長及び短期大学長、大学各学部から選出された委員、短期大学から選出された委員、教務課統括課長により構成されている。 また、看護学部内におけるFDは、共立女子大学・共立女子短期大学FD委員会の検討を受けて、看護学部より選出されたFD委員が中心となり、学部内におけるFDの推進等を、教授会と連携を取りながら実施する。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 共立女子大学・共立女子短期大学FD委員会は、平成27年度は、原則毎月第4週の月曜日に開催が予定されている。具体的には、4/27、5/25、6/22、7/13、9/28、10/26、11/23、12/14、2/22の9回を予定している。 c 委員会の審議事項等 1) 委員会の審議事項 ・ FDの企画に関すること ・ FDの実施に関すること ・ FDの評価に関すること ・ その他、FDの推進に関すること 2) 具体的な審議事項 ・ 授業アンケートに関すること ・ 単位制度の実質化に関すること（シラバスの充実、CAP制度の運用、GPA制度の運用等） ・ 授業見学会に関すること ・ FDに係る研修に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- 1) 授業見学会
- 2) F D 研修会

b 実施方法

- 1) 授業見学会
学生の父母及び学内の教職員等を対象に、大学・短期大学の授業を公開。学生の父母に本学の教育に対する理解を深めてもらうとともに、授業内容・授業方法に関する意見をフィードバックして、教育改善に資することを目的としている。
- 2) F D 研修会
専任教員を対象とした研修会を開催。F D 委員会委員がコーディネーターとなり、外部講師を招聘した講演会、模擬授業、グループワーク、ディスカッション等を実施し、授業内容や授業方法の改善に役立てる。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 授業見学会
毎年度6月に実施。原則として全ての授業科目を対象としている（一部の実験・実習、演習科目等を除く）
- 2) F D 研修会
毎年度3月に実施。専任教員40～50名程度が参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 授業見学会
参加者に対してアンケートを実施し、授業内容・授業方法に関する意見を各教員にフィードバックし、授業内容・授業方法等の改善を図っている。
- 2) F D 研修会
模擬授業の実施と意見交換、グループワークやディスカッションの実施により、授業技術や教材開発に関する改善について具体的に取り組んでいる。参加者以外の専任教員に対しても、授業内容・授業方法等の改善の参考となるよう、教授会等を通じて取組み内容を共有化している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期に各1回、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果については、各授業担当者に公開するとともに、各授業担当者は、アンケート結果に基づいて「所感」を作成し、学内ネットワークを通じて学生・教員に対して全所感と全体集計を開示している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

共立女子大学看護学部は、今後ますます高度化・複雑化する看護ニーズに対応できる質の高い人材養成を実現するために、既設の短期大学看護学科における教育実績を踏まえ、設置したものであり、「幅広い教養を基盤とした豊かな人間性を養い、看護専門職として必要とされる知識・技術・態度に基づいた看護実践能力を修得するとともに、将来にわたり看護の向上に資するための研鑽能力を養い、人々の健康の保持増進に寄与することにより、自ら自己の将来を切り開き、自律的に社会に参画・貢献しうる女性を育成する」ことを目的としている。

看護学部は、近年の医療の高度化、急速な少子高齢化、医療に対する国民ニーズの多様化、在宅医療ニーズの高まり、さらには医療安全の確保やチーム医療などの推進など、看護に対する社会的要請に対応できる質の高い人材養成を目指し、特に、高い倫理観を基盤としたヒューマンケア態度、科学的根拠に基づき看護を計画的かつ安全に実践する能力、健康課題を適切に査定する能力、自己研鑽を継続し看護実践のための専門性を発展させる能力を育成することを特色としている。

看護学部においては、開設初年度において、教育課程を設置計画通り実施し、上記のような学部の理念・目的・特色の実現に努めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成23年4月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に（財）大学基準協会による認証評価の結果、適合と認定された。認定期間は、平成30年3月まで。
- ・次回、平成30年度に大学基準協会の認定を受けるべく準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ()

○共立女子大学・共立女子短期大学FD委員会規程

(目的)

第1条 共立女子大学・共立女子短期大学において、ファカルティ・ディベロップメント（授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組のこと。以下「FD」という）の推進のために、共立女子学園将来基本構想委員会のもとに、共立女子大学・共立女子短期大学FD委員会（以下「本委員会」という）を置く。

(組織)

第2条 本委員会は、次に掲げる委員で構成する。

- ① 大学長及び短期大学長
 - ② 大学各学部から選出された委員 8名
 - ③ 短期大学から選出された委員 2名
 - ④ 教務課統括課長
- 2 委員長は、大学長とする。
 - 3 任命は理事長が行う。
 - 4 任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、職位に基づいて任命される委員の任期は、当該職位の任期までとする。
 - 5 欠員が生じた場合の新任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第3条 本委員会は、次の事項について審議する。

- ① FDの企画に関すること
 - ② FDの実施に関すること
 - ③ FDの評価に関すること
 - ④ 授業アンケートに関すること
 - ⑤ その他、FDの推進に関すること
- 2 本委員会の審議結果は、共立女子学園将来基本構想委員会及び学部長・科長会の議を経て、学長が執行する。

(事務)

第4条 本委員会の事務は、教務課が所管する。